



---

# 2012年3月期 決算説明会

---

**2012年5月14日  
南海電気鉄道株式会社**

---

# 本日の内容

1. 2012年3月期決算の概要 ..... P 2
2. セグメント別の状況(2012年3月期) ..... P 6
3. 2013年3月期の業績予想 ..... P17
4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況 ..... P22





# 1. 2012年3月期 決算の概要

# 1. 2012年3月期決算の概要

## 1) 業績ハイライト

(単位:百万円・%)

	2011年3月期	2012年3月期	増減額	増減率	増減理由
営業収益	186,164	181,869	△4,294	△2.3	●営業収益 流通業及びレジャー・サービス業で増収となったものの、東日本大震災や台風の影響等により運輸業が減収となったほか、建設業の減収もあり減収
営業利益	19,900	18,294	△1,606	△8.1	●営業利益 運輸業及びレジャー・サービス業を除き減益
経常利益	11,466	11,067	△398	△3.5	●当期純利益 減損損失等の特別損失を計上したものの、法人税率の変更により、繰延税金負債等を取り崩した結果、法人税等調整額が減少したことによる増益
当期純利益	3,054	5,686	2,632	86.2	

# 1. 2012年3月期決算の概要

## 2) 資産、負債及び純資産の状況

(単位:百万円)

	2011年3月末	2012年3月末	増減額	増減理由
流動資産	81,562	83,535	1,973	●流動資産 現金及び預金、商品及び製品の増加
固定資産	717,893	706,055	△11,837	●固定資産 連続立体交差化工事の進捗等による建設仮勘定の増加があったものの、減価償却の進捗や減損損失の計上等による有形固定資産の減少
資産合計	799,455	789,591	△9,864	
負債合計	670,988	653,988	△16,999	●負債 借入金の返済や法人税率の変更による繰延税金負債及び再評価に係る繰延税金負債の取り崩し等による減少
純資産	128,467	135,602	7,135	●純資産 当期純利益の計上や、法人税率変更による土地再評価差額金の増加等による増加
負債純資産合計	799,455	789,591	△9,864	
有利子負債残高	493,623	480,346	△13,276	短期借入金の減少

# 1. 2012年3月期決算の概要

## 3) キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)

	2011年3月期	2012年3月期	増減額	増減理由
営業活動による キャッシュ・フロー	33,143	37,764	4,621	●営業活動によるキャッシュ・フロー 仕入債務の増加による収入の増加
投資活動による キャッシュ・フロー	△18,495	△20,228	△1,732	●投資活動によるキャッシュ・フロー 工事負担金等受入による収入が減少したことによる 支出の増加
財務活動による キャッシュ・フロー	△15,064	△16,162	△1,098	●財務活動によるキャッシュ・フロー 短期借入金の返済による支出が増加したことによる 支出の増加
現金及び現金 同等物の期末残高	17,561	18,935	1,373	



## 2. セグメント別の状況(2012年3月期)

## 2. セグメント別の状況(2012年3月期)

### セグメントの構成状況 (2012年3月末現在)

【連結子会社52社・非連結子会社11社・関連会社5社(うち持分法適用会社3社)】

増減(対 2011年3月末現在)

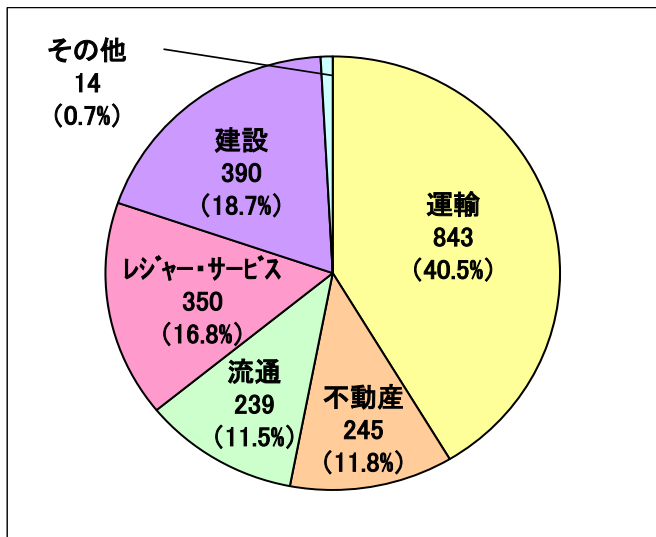
連結子会社の増加 1社:南海リテールプランニング株式会社

連結子会社の減少 2社:株式会社クマコー旅行、株式会社ジオナンカイトラベル

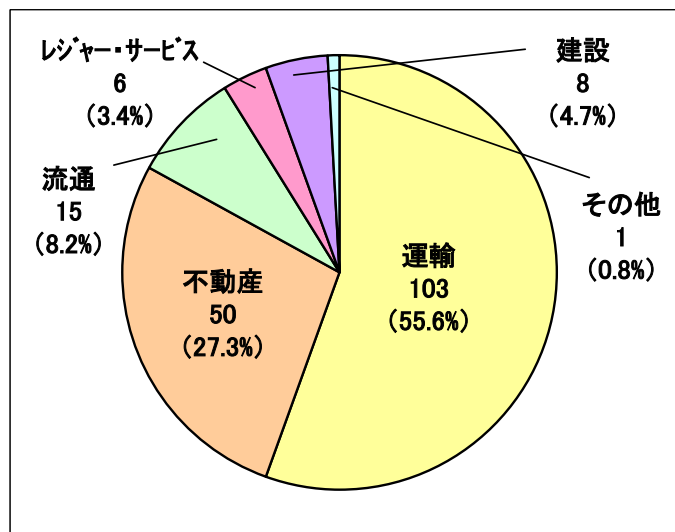
運輸業 (29社)	不動産業 (4社)	流通業 (7社)	レジャー・サービス業 (23社)	建設業 (5社)	その他の事業 (4社)
--------------	--------------	-------------	---------------------	-------------	----------------

※当社は複数セグメントに重複して含まれております。

営業収益 (単位:億円)



営業利益 (単位:億円)





## 2. セグメント別の状況(2012年3月期)

### 1) セグメント別営業収益

(単位:百万円・%)

	2011年3月期	2012年3月期	増減額	増減率
運 輸 業	85,088	84,394	△694	△0.8
不 動 産 業	25,336	24,592	△744	△2.9
流 通 業	23,466	23,929	462	2.0
レジャー・サービス業	33,659	35,041	1,382	4.1
建 設 業	41,157	39,009	△2,148	△5.2
そ の 他 の 事 業	1,663	1,402	△260	△15.7
調 整 額	△24,208	△26,500		
合 計	186,164	181,869	△4,294	△2.3

## 2. セグメント別の状況(2012年3月期)

### 2) セグメント別営業利益

(単位:百万円・%)

	2011年3月期	2012年3月期	増減額	増減率
運 輸 業	10,269	10,348	78	0.8
不 動 産 業	6,459	5,093	△1,366	△21.1
流 通 業	1,681	1,532	△149	△8.9
レジャー・サービス業	209	628	419	200.6
建 設 業	1,225	867	△357	△29.2
そ の 他 の 事 業	180	151	△28	△16.0
調 整 額	△125	△328		
合 計	19,900	18,294	△1,606	△8.1

## 2. セグメント別の状況(2012年3月期)

### 3) 運輸業の実績 (減収増益)

(単位:百万円・%)

	2011年3月期	2012年3月期	増減額	増減率	増減理由
鉄道事業	55,128	54,210	△918	△1.7	●鉄道事業 東日本大震災や台風上陸の影響等により減収となったものの、費用削減効果もあり増益
軌道事業	1,352	1,438	86	6.4	
バス事業	24,617	24,651	34	0.1	
海運業	1,877	1,855	△22	△1.2	●車両整備業 原油価格上昇に伴う燃料販売収入の増収
貨物運送業	3,582	3,678	96	2.7	
車両整備業	4,223	4,592	368	8.7	
調整額(セグメント内)	△5,692	△6,031			
営業収益	85,088	84,394	△694	△0.8	
営業利益	10,269	10,348	78	0.8	
減価償却費	12,962	12,561	△400	△3.1	
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	9,056	13,588	4,532	50.0	

## 2. セグメント別の状況(2012年3月期)

鉄道旅客収入と輸送人員表

(単位:百万円・千人・%)

全線		2011年3月期	2012年3月期	増減率
旅客収入	定期外	29,407	29,047	△1.2
	定期	22,922	22,548	△1.6
	合計	52,329	51,596	△1.4
輸送人員	定期外	86,581	85,466	△1.3
	定期	139,484	138,018	△1.1
	合計	226,065	223,484	△1.1

(単位:百万円・千人・%)

空港線		2011年3月期	2012年3月期	増減率
旅客収入	定期外	3,257	3,215	△1.3
	定期	1,130	1,085	△4.0
	合計	4,388	4,301	△2.0
輸送人員	定期外	3,912	3,829	△2.1
	定期	3,545	3,414	△3.7
	合計	7,457	7,243	△2.9

## 2. セグメント別の状況(2012年3月期)

### 4) 不動産業の実績 (減収減益)

(単位:百万円・%)

	2011年3月期	2012年3月期	増減額	増減率	増減理由
不動産賃貸業	18,985	18,387	△597	△3.1	●不動産賃貸業 南海都市創造㈱との合併による減収減益ほか
不動産販売業	6,820	6,801	△19	△0.3	
調整額(セグメント内)	△469	△596			●不動産販売業 分譲マンションの販売減少による減収  ●主な利益内訳 不動産賃貸業: 7,222(△649) 不動産販売業: △2,081(△664) (たな卸資産評価損増加)
営業収益	25,336	24,592	△744	△2.9	
営業利益	6,459	5,093	△1,366	△21.1	
減価償却費	4,752	4,698	△54	△1.1	
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	7,307	3,596	△3,711	△50.8	

## 2. セグメント別の状況(2012年3月期)

### 5) 流通業の実績 (増収減益)

(単位:百万円・%)

	2011年3月期	2012年3月期	増減額	増減率	増減理由
ショッピングセンターの経営	10,898	10,991	93	0.9	●ショッピングセンターの経営 なんばCITYリニューアル効果による増収があったものの、なんばパークスリニューアルに伴う店舗閉鎖等による減益
物品販売業	12,943	12,775	△167	△1.3	
その他	899	1,091	191	21.3	●その他 レンタルDVD店拡大による増収
調整額(セグメント内)	△1,275	△929			
営業収益	23,466	23,929	462	2.0	
営業利益	1,681	1,532	△149	△8.9	
減価償却費	3,434	3,612	177	5.2	
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	2,498	2,774	276	11.1	

## 2. セグメント別の状況(2012年3月期)

### 6) レジャー・サービス業の実績 (増収増益)

(単位:百万円・%)

	2011年3月期	2012年3月期	増減額	増減率	増減理由
遊園事業	872	1,033	161	18.5	●遊園事業 みさき公園入園者数増加による増収
旅行業	1,857	1,877	19	1.0	
ホテル・旅館業	1,264	906	△358	△28.3	●ホテル・旅館業 東日本大震災や台風上陸に伴う宿泊者数減少による減収
ポートレース施設賃貸業	5,033	5,137	104	2.1	
ビル管理メンテナンス業	18,151	19,799	1,648	9.1	●ビル管理メンテナンス業 指定管理者受託収入及び設備工事の増加による増収
印刷業	784	832	48	6.2	
広告代理業	1,261	1,171	△89	△7.1	
その他の他	6,418	6,452	34	0.5	
調整額(セグメント内)	△1,983	△2,169			
営業収益	33,659	35,041	1,382	4.1	
営業利益	209	628	419	200.6	
減価償却費	1,766	1,696	△70	△4.0	
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,779	1,811	31	1.8	

## 2. セグメント別の状況(2012年3月期)

### 7) 建設業の実績 (減収減益)

(単位:百万円・%)

	2011年3月期	2012年3月期	増減額	増減率	増減理由
建設業	40,703	39,030	△1,672	△4.1	●建設業 建設投資の減少に伴う受注競争の激化や労務費の上昇等による減収減益
建築材料卸売業	713	—	△713	△100.0	
調整額(セグメント内)	△259	△21			●建築材料卸売業 南海砂利(株)株式譲渡(2010年11月)
営業収益	41,157	39,009	△2,148	△5.2	
営業利益	1,225	867	△357	△29.2	
減価償却費	166	159	△7	△4.5	
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	67	75	7	11.6	



## 2. セグメント別の状況(2012年3月期)

### 8) その他の事業の実績 (減収減益)

(単位:百万円・%)

	2011年3月期	2012年3月期	増減額	増減率	増減理由
そ の 他	1,669	1,406	△263	△15.8	
調整額(セグメント内)	△5	△3			
営業収益	1,663	1,402	△260	△15.7	
営業利益	180	151	△28	△16.0	
減価償却費	8	7	△0	△7.0	
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	27	2	△24	△90.9	



### 3. 2013年3月期の業績予想

# 3. 2013年3月期の業績予想

## 1) 業績ハイライト

(単位:百万円)

	2012年3月期			2013年3月期		増減理由
	実績(A)	修正予想 (B)※1	差異(A-B)	予 想(C)	差異(C-A)	
営業収益	181,869	192,900	△11,030	196,700	14,830	●営業収益 震災や台風による反動増やLCC旅客増、受注拡大及び成長戦略に基づく事業拡大による増収
営業利益	18,294	17,700	594	19,700	1,405	
経常利益	11,067	9,900	1,167	12,200	1,132	
当期純利益	5,686	5,300	386	6,400	713	●営業利益 増収や減価償却費の減少による増益
投資額	21,849	40,200	△18,350	46,900	25,050	●投資額 成長戦略投資及びなんばまちづくり推進投資による増加
減価償却費	22,239	22,600	△360	21,000	△1,239	
EBITDA※2	40,533	40,300	233	40,700	166	●有利子負債残高 投資額の増加による増加
有利子負債残高	480,346	498,800	△18,453	496,000	15,653	
有利子負債残高 ／EBITDA倍率	11.9倍	12.4倍		12.2倍		

※1 修正予想(B)は2011年10月31日時点の数値

※2 EBITDA= 営業利益+減価償却費

# 3. 2013年3月期の業績予想

## 2) セグメント別営業収益

(単位:百万円)

	2012年3月期			2013年3月期			増減理由
	実績 (A)	修正予想 (B)※1	差異 (A-B)	予想 (C)※2	前年実績 (D)※2	差異 (C-D)	
運輸業	84,394	83,800	594	84,800	84,394	405	●運輸業 鉄道事業、バス事業の回復及びLC C旅客増による増収
不動産業	24,592	25,900	△1,307	25,100	24,592	507	
流通業	23,929	24,000	△70	27,600	25,040	2,559	●不動産業 不動産賃貸業において、新規賃貸物 件取得による増収
レジャー・ サービス業	35,041	38,700	△3,658	37,000	33,741	3,258	
建設業	39,009	43,100	△4,090	45,000	39,009	5,990	●流通業 プッシュカート事業会社のM&A実施 や成長戦略に基づく事業拡大による 増収
その 他の 事業	1,402	1,400	2	1,700	1,402	297	
調整額	△26,500	△24,000		△24,500	△26,310		●レジャー・サービス業 ビル管理メンテナンス業における成 長戦略に基づく事業拡大及び葬祭ビ ジネスの拡大による増収
合計	181,869	192,900	△11,030	196,700	181,869	14,830	

※1 修正予想(B)は2011年10月31日時点の数値

※2 2013年3月期より一部の連結子会社の所属セグメントを変更することに伴い、前年実績(D)のセグメント別営業収益の数値も予想(C)と同じセグメント区分に組み替えて表示

# 3. 2013年3月期の業績予想

## 3) セグメント別営業利益

(単位:百万円)

	2012年3月期			2013年3月期			増減理由
	実績 (A)	修正予想 (B)※1	差異 (A-B)	予 想 (C)※2	前年実績 (D)※2	差異 (C-D)	
運 輸 業	10,348	9,300	1,048	9,900	10,348	△448	●運輸業 鉄道事業の安全投資に伴う除却費の計上等による減益
不 動 産 業	5,093	5,200	△106	5,500	5,093	406	
流 通 業	1,532	1,100	432	2,200	1,544	655	●不動産業 不動産販売業において、たな卸資産評価損の計上額減少による増益
レジャー・サービス業	628	900	△271	1,200	616	583	
建 設 業	867	1,000	△132	1,000	867	132	●流通業 前年度発生したリニューアル関連経費の減少及びしんかなCITY営業終了による増益
そ の 他 の 事 業	151	100	51	100	151	△51	
調 整 額	△328	100		△200	△328		●レジャー・サービス業 増収による増益
合 計	18,294	17,700	594	19,700	18,294	1,405	

※1 修正予想(B)は2011年10月31日時点の数値

※2 2013年3月期より一部の連結子会社の所属セグメントを変更することに伴い、前年実績(D)のセグメント別営業利益の数値も予想(C)と同じセグメント区分に組み替えて表示

### 3. 2013年3月期の業績予想

#### 4) 運輸業 鉄道旅客収入と輸送人員表

(単位:百万円・千人・%)

全線		2011年3月期 実績	対前年 増減率	2012年3月期 実績	対前年 増減率	2013年3月期 予想	対前年 増減率
旅客収入	定期外	29,407	△0.2	29,047	△1.2	29,557	1.8
	定期	22,922	△1.5	22,548	△1.6	22,516	△0.1
	合計	52,329	△0.8	51,596	△1.4	52,073	0.9
輸送人員	定期外	86,581	0.0	85,466	△1.3	86,491	1.2
	定期	139,484	△0.6	138,018	△1.1	137,694	△0.2
	合計	226,065	△0.3	223,484	△1.1	224,185	0.3

(単位:百万円・千人・%)

空港線		2011年3月期 実績	対前年 増減率	2012年3月期 実績	対前年 増減率	2013年3月期 予想	対前年 増減率
旅客収入	定期外	3,257	1.3	3,215	△1.3	3,442	7.1
	定期	1,130	0.3	1,085	△4.0	1,129	4.1
	合計	4,388	1.0	4,301	△2.0	4,572	6.3
輸送人員	定期外	3,912	1.1	3,829	△2.1	4,142	8.2
	定期	3,545	0.5	3,414	△3.7	3,545	3.8
	合計	7,457	0.8	7,243	△2.9	7,687	6.1



## 4. 中期経営計画「凜進130計画」 の進捗状況

## 4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

「凜進130計画」の基本方針と数値目標(2011年度～2014年度)

### 基本方針

- ① 観光・インバウンドビジネスの推進
- ② 不動産・流通事業の拡大
- ③ 新たな事業領域への進出
- ④ なんばのまちづくり推進
- ⑤ グループ経営基盤の強化

### 数値目標(最終年度2015年3月期)

- ① 連結営業収益 2,300億円以上
- ② 連結経常利益 130億円以上
- ③ 連結有利子負債残高／EBITDA倍率 10倍台

※ EBITDA=営業利益+減価償却費



# 4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

## ①観光・インバウンドビジネスの推進(1/2)

### ◇LCC旅客の取り込み

#### ◆鉄道事業

- ・「Peach・なんばきっぷ」発売

日本で唯一、国内線定期便の旅客機内で鉄道の割引乗車券販売

#### ◆バス事業

- ・リムジンバス「関西空港～梅田線」にて早朝・深夜便対応
- ・Peach便 暫定ランプバス輸送



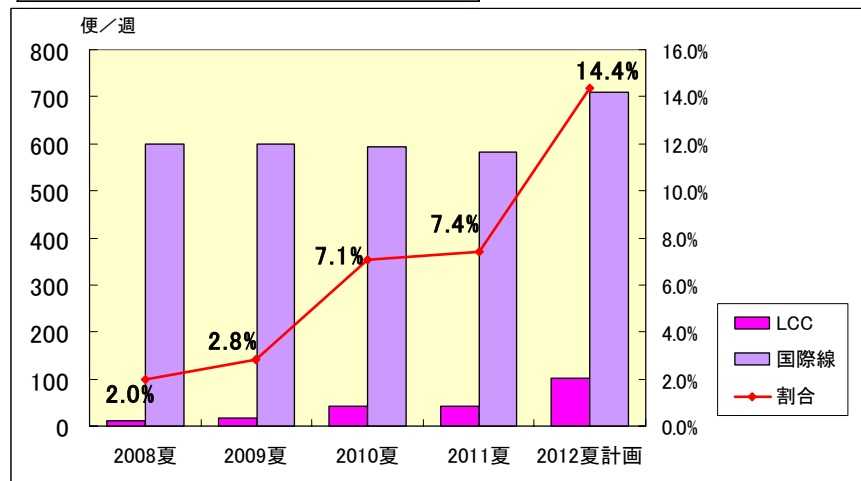
リムジンバス乗り場



Peach便暫定ランプバス

### 関空における国際線旅客便数の推移

※2012年3月 関西国際空港開示資料より



### 関空における国内線旅客便数の推移

	2011夏 ダイヤ	2012夏 ダイヤ	増減
国内線(便/日)	43	58	15
うちLCC(便/日)	0	21	21

※2012年4月23日現在 関西国際空港資料より作成

# 4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

## ①観光・インバウンドビジネスの推進(2/2)

### ◇観光・インバウンド需要の取り込み

#### ◆受入基盤の整備

- ・iPadを活用した通訳案内サービス開始
- ・駅ナンバリングの導入
- ・関空駅に「南海ツーリストサポートセンター」設置



南海ツーリストサポートセンター

#### ◆訪日外国人観光客の誘客

- ・ボートレース住之江・ナイトツアー開催
- ・クルーズ船旅客受入れや春節イベント開催による  
ななば商業施設へ誘客



ボートレース住之江・ナイトツアー



春節期間中の  
「おもてなし」イベント

#### ◆関空アクセスの利用促進

- ・関空から近畿各地(大阪市内、京都、奈良)への「アクセスきっぷ」発売
- ・リムジンバス路線の増便「関西空港～京都線」

#### ◆高野山地域における沿線活性化

- ・高野山開創1200年記念大法会(2015年)  
に向けた沿線活性化事業の推進



観光展望列車「天空」

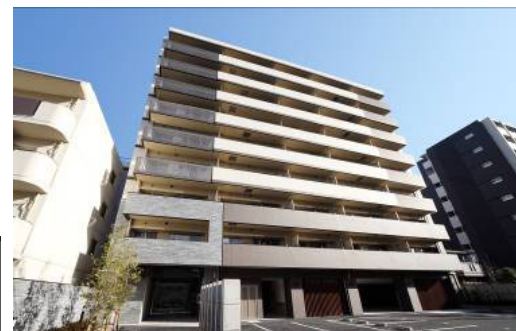
## 4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

### ②不動産・流通事業の拡大(1/3)

#### ◇新規賃貸物件の取得

- ◆首都圏のオフィスビルを中心に取得検討中
- ◆大阪市内で「賃貸マンション」取得

物件所在地	規模	延床面積	取得日
大阪市阿倍野区	地上9階建	約2,600㎡	2012年3月



取得した賃貸マンション(阿倍野区)

#### ◇マンション分譲事業の拡大

物件名称	物件所在地	物件戸数	竣工予定日
デラッセ天王寺玉造(※1)	大阪市	56戸	2012年12月
神戸三宮ブリーズレジデンス(※2)	神戸市	56戸	2013年3月
ヴェリテ永和駅前	東大阪市	69戸	2013年8月

(※1)全戸完売 (※2)他社との共同事業物件



デラッセ天王寺玉造(イメージ)

# 4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

## ②不動産・流通事業の拡大(2/3)

◇収益基盤の拡充 ～小売・飲食事業等の強化・拡大、PM機能強化～

### ◆駅ナカ事業の沿線外展開

南海グループの南海商事と東急不動産の共同事業体が大阪市交通局御堂筋線の駅ナカ事業の運営管理者に決定。出店者募集説明会を実施するなど計画推進中。

事業対象場所	オープン時期	延べ面積
大阪市交通局御堂筋線 天王寺駅	2013年4月頃	約618㎡
大阪市交通局御堂筋線 なんば駅	2013年10月頃	約986㎡
大阪市交通局御堂筋線 梅田駅	2014年4月頃	約496㎡



梅田駅の店舗(イメージ)

### ◆プッシュカート事業会社のM&A

エイチ・ツー・オー リテイリンググループから株式100%取得(2012年3月)  
小売事業の強化拡大、他社施設PM受託に向けたネットワーク構築

#### 【概要】

新会社: 南海リテールプランニング株式会社

事業内容: プッシュカート事業(※)、空床運営事業、イベント企画事業

事業エリア: 関東・関西・中四国のショッピングセンターを中心に展開

売上高: 14億円(2012年3月期)



プッシュカート事業

(※)ショッピングセンター等のパブリックスペースで、プッシュカート(ワゴン)を使用したミニショップを運営する事業。

# 4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

## ②不動産・流通事業の拡大(3/3)

### ◇既存商業施設のブラッシュアップ

- ◆なんばパークスリニューアル  
深化し続ける施設を目指し、物販店エリアを中心としたテナント入替えを実施

オープン日	2012年3月8日
対象店舗	新規43店、移転・改装25店
投資総額	約3億円

- ◆しんかなCITY営業終了(2012年3月)  
不採算事業からの撤退による収益改善

開業日	1992年9月2日
営業面積	15,787㎡
売上高	15億円(2012年3月期)



なんばパークスリニューアルオープン



新設した女性トイレ内  
パウダールーム  
(なんばパークス)

## 4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

### ③新たな事業領域への進出(1/2)

◇現行事業の周辺事業、新規事業や公共関連ビジネスへの展開

#### ◆シニアビジネスへの参入

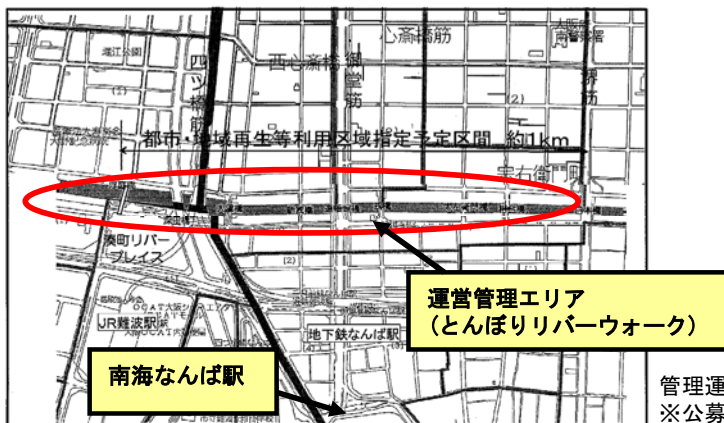
- ・高齢者専門宅配弁当事業参入(2011年9月)
- ・事業参入に向けて「南海ライフレーション(株)」(当社100%出資)を設立(2012年4月)

#### ◆「とんぼりリバーウォーク」管理運営受託(2012年4月～)

繁華街ミナミの道頓堀川沿い約1kmに整備された遊歩道の管理運営事業者に決定。維持管理業務に加え、水辺空間の更なる賑わいの創出で集客効果を高め、なんばエリアを活性化。



とんぼりリバーウォーク



管理運営エリア(浮庭橋～日本橋間の道頓堀川兩岸遊歩道)  
※公募時の資料より

## 4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

### ③新たな事業領域への進出(2/2)

#### ◆ビル管理メンテナンス業における受注拡大

ビルメンテナンス業や指定管理者制度(※)を中心に新規管理物件を獲得

主な運営管理施設

施設名称	運営開始	施設所在地
大阪府立体育会館	2011年4月	大阪市浪速区
岸和田市立浪切ホール	2011年4月	大阪府岸和田市
箕面市立総合運動場	2011年4月	大阪府箕面市

(※)都道府県や市町村のスポーツ・文化施設、社会福祉施設、公園などの施設の管理者に民間事業者等を指定する制度

#### ◆葬祭ビジネスの拡大

2006年3月の橋本1号店開業後、南海沿線を中心に12店舗を開業。  
本年6月には沿線外の枚方市に13号店を開業予定。

店名	開業日	開業年度
ティア美原(8号店)	2011年5月	2012年3月期
ティア大野芝(9号店)	2011年10月	
ティア大阪狭山(10号店)	2011年12月	
ティア岸和田(11号店)	2012年2月	
ティア浜寺(12号店)	2012年4月	2013年3月期
ティア枚方(13号店)	2012年6月(予定)	



# 4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

## ④なんばのまちづくり推進(1/3)

### ◆主な取組み

2003年



2009年



2012年



なんばエリアの新たな価値創造

都市機能の充実による国際化対応と周辺地域、  
施設との相乗効果を図り、「なんば」の価値向上を目指す



パークスタワー



なんばパークス



ザ・なんばタワー



南海ビル外壁再生



なんばガレリア



フレイザーレジ  
デンス南海大阪



なんばCITY  
再生リニューアル



Zepp Namba(OSAKA)



南海なんば第1ビル  
南海電気鉄道(株)本社  
(大阪府立大学入居  
2013年4月開学予定)

- 2003年 9月 パークスタワー開業
- 2003年10月 なんばパークス第1期開業
- 2007年 4月 なんばパークス全館グランドオープン
- 2007年 8月 分譲マンション「ザ・なんばタワー」竣工
- 2009年 9月 南海ビル外壁美装化工事完成
- 2009年10月 なんばガレリア誕生
- 2010年10月 サービスアパートメント「フレイザーレジデンス南海大阪」開業
- 2011年 4月 なんばCITY再生リニューアルグランドオープン
- 2012年 4月 Zepp Namba(OSAKA)開業
- 2013年 3月 南海なんば第1ビル完成・本社移転(予定)



## 4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

### ④なんばのまちづくり推進(2/3)

#### ◇南海会館ビル建替計画

関空へのアクセス拠点、なんばターミナルと直結したエリアNo.1ビル。高機能オフィスその他、先進医療施設やツーリストサロン等を設置。アジアのゲートシティとなるための都市機能を集約するとともに地域との共生を図り、なんばエリアに新たな価値を創造する。



新南海会館ビルイメージ(御堂筋より望む)

#### ◆施設構成

##### <高層部>

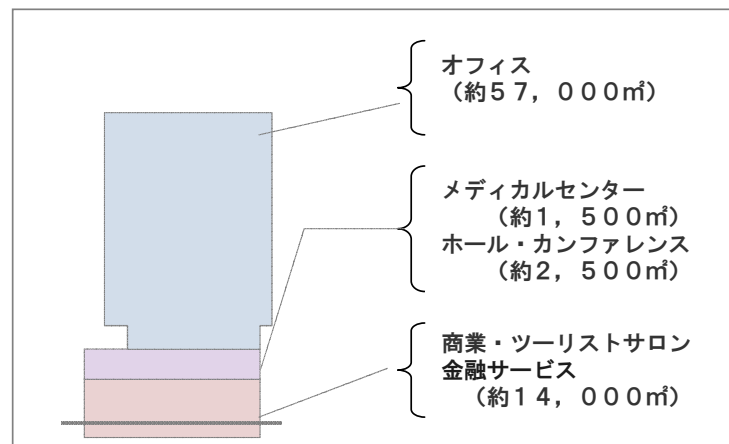
- 事務所系オフィス(20階～29階)
- ビジネスサポート・生活サービス系オフィス(11階～19階)

##### <中層部>

- メディカルセンター(8階)
- ホール・カンファレンス(6階～7階)

##### <低層部>

- 商業・ツーリストサロン・金融サービス(B1階～5階)



施設構成(イメージ)

※その他、設備関係3,000㎡

## 4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

### ④ なんばのまちづくり推進(3/3)

#### ◆事業スケジュール

2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
設備移設等の関連工事・解体工事					本体工事			

#### ◆建物概要

階数	地上29階 地下2階
高さ	約154m
延床面積	約78,000㎡
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造
総事業費	約400億円
着工予定	2016年春 ※設備移設等関連工事は2011年7月より着手
竣工予定	2019年春



全景(イメージ)

## 4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

### ⑤グループ経営基盤の強化(1/2)

#### ◇効率的な事業体制の構築

##### ◆駅ビジネスの再編・強化

- ・沿線各駅での商業賃貸事業、直営物販事業の運営を南海商事グループに集約。経営効率向上と収益力強化を図ると同時に、PM機能強化により大阪市交通局の駅ナカ事業受託に続く、他社施設からの受託拡大を目指す。

##### ◆ボートレース施設賃貸業の収支改善

- ・効率的な経営を図るため、ボートレース場の施設をグループ内の住之江興業へ集約。増収施策の実施や費用削減の徹底により、収支改善。

##### ◆輸送形態の変更や生産性向上施策の推進

- ・和歌山港線の運行形態の変更
- ・効率的な事業運営体制の構築

##### ◆南海電鉄本社部門においてISO14001認証取得(2012年3月)

- ・節電やコスト削減意識の徹底

## 4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

### ⑤グループ経営基盤の強化(2/2)

#### ◇「安全・安心の追求」「サービスの向上」

##### ◆新型ATSの整備等、安全投資を実施

- ・2011年度実績： 67億円
- ・2012年度計画：約70億円



美加の台駅に整備したエレベーター

##### ◆駅バリアフリー化整備工事の推進

- ・2011年度：美加の台駅をはじめとする5駅で整備完了
- ・2012年度：和歌山市駅で整備予定



進捗する泉大津連立

##### ◆南海線で連続立体交差事業を推進

- ・堺市内、高石市内、泉大津市内

##### ◆新駅「和歌山大学前」駅開業(2012年4月)

- ・南海線 孝子駅～紀ノ川駅間



和歌山大学前駅

# IRのお問い合わせ先

## 南海電気鉄道株式会社

〒542-8503 大阪府中央区難波五丁目1番60号

経営政策室 経営企画部(IR担当)

TEL:06-6644-7105 FAX:06-6644-7108

URL:<http://www.nankai.co.jp/>

本資料は投資勧誘を目的とした資料ではありません。あくまでも参考資料であり、正確な決算数値等は決算短信・有価証券報告書等をご参照ください。本資料で記述しております業績予想及び将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、需要動向などの業況の変化、物価変動等、多分に不確定要素を含んでおります。そのため、実際の業績は、様々な要因の変化により業績予想と乖離する場合がありますので、ご承知おきいただきますようお願いいたします。

# MEMO